

# 「猫のマッチングアプリ」プロジェクト

自分が  
経験してきたこと  
を機に見えてきた

**社会問題に着目**し、

親しみやすいものを制作する



# プロローグ



## ある日近所に 見慣れない猫が現れる

数日後、数匹の子猫を見つけた。  
現れた猫は母猫で、  
向かいの家の庭を住処にしている  
ことがわかった。

## 子猫と母猫を保護する ために…

ボランティアさんをつながり  
監修の元、餌付けをしながら  
様子を見、しばらくして共に保護。  
一時保護の協力を得ながら、  
里親を探し譲渡会を経て、  
子猫を新しい家族のもとへ





# コンセプト

## つながりから、より良い未来を。

社会で見過ごされがちな動物愛護問題をより身近に関心を持ちやすいものにする。猫たちとボランティア、迎え主にとって互いに理想的な仕組みづくりを目指す。

### ターゲット

- 保護猫のボランティア
- 里親になりたい方
- 保護に興味のある方

その他、すでに猫を飼っている・保護している方  
保護したくてもできない方、  
猫を飼いたくても飼えない方



今回デザインしたアプリには「ゆいゆい」という名前をつけました。「結」の文字を繰り返したこの名前は、沖縄の方言で「助け合い」を意味し、アプリを通じた結びつきを大事にする意味を込めています。

組紐で文字を表し、結びつけたデザインをしました。結びの輪が耳を、房が髭を彷彿とさせるよう工夫しました。

# キャッチフレーズ

## 想いをつなぐ 幸せをつむぐ

### 3つの柱

無理のない役割

見慣れない猫を  
発見者自身ができる範囲の  
対応を促す事で、  
ボランティアの  
負担を減らし、  
保護手順の情報を  
得やすくする事で  
間口を広げる。

独自の  
マッチングシステム

迎え主が保護する  
猫を選ぶことなく  
その子に合った  
条件の里親へ  
譲渡する仕組みで  
最適な家族の元へ  
里親の精査を  
減らし、譲渡する。

信頼できる  
仕組みづくり

譲渡が完了した猫  
の写真投稿の機能  
を設けることで、  
成立した譲渡を  
知ることができ、  
保護の現状を知り、  
安心してアプリを  
使用することに  
繋がる。

### アイコンデザイン



助けを求める小さな合図にも  
気づけるよう、このアプリアイコンは  
手をあげることから着想を得ました。  
猫の手と組紐の織を掛け合わせた  
このデザインは、織ごとに毛色が  
変化しており、多様な個々のあり方  
のある猫を肯定する想いを  
込めました。

# アプリの配色

組紐の伝統とモダンな印象に合うよう、  
格式高い印象のある日本の伝統的な  
配色をベースに淡い色に調整し、  
親しみやすさとバランスをとりました。

10ステップ

## アプリの流れ～マッチング編～



里親側視点へ



### ①役割を決める

猫を一時保護しており、里親を探  
す方はボランティアを  
里親として、猫を保護したい・  
探している方は里親を  
選択し、登録へ進みます。

緑のボタンは登録不要で  
写真投稿から保護の現状を知れます。

### ②アカウントを登録する

安全なマッチングを実行する  
ために必要な情報を入力します。  
特に、性別・年齢・住所・同居者、  
先住猫の有無(※里親側のみ)など  
入力必須の設定をしています。

ボランティア側も同様に登録を行います。  
団体は代表者の登録ができます。

## アプリの流れ～マッチング編～

### ③猫の情報を登録する

②と同様に安全なマッチングを実行するために必要な情報を入力します。

猫の登録にあたって、名前、性別、種類に加え、譲渡に関わる地域や年齢、健康状態の入力を重視します。

### ④猫の情報から里親候補を検索

主に地域を重視し、ボランティアは保護猫の状態から、個々に合わせ、条件をカスタマイズすることができます。

子猫の人馴れに合わせ、ペアで選択することもできます。

右の画面参照

実際に保護をした子を元に例を作成しました。



### ⑤ 検査結果から 保護のオファーを送る

結果は条件との一致順で表示され、一つの登録につき、一回まで送ることができます。

オファーは1週間の期限があり、時間経過または、オファーが断られた場合、再度オファーを送ることができます。

### ⑥ オファーの諾否をする

里親側は送られてきたオファーの中から引き受けるものを選びます。

### ⑦ メッセージを通じて 調整をする

マッチングした組み合わせごとに里親・ボランティア間ですり合わせができます。

個々に合わせた必要な環境整備、プレ譲渡をすることができます。

#### Point

既存の保護マッチングサービスもありますが、いずれもが、里親になりたい方が選び、立候補する形式です。「ゆいゆい」では、上記のシステムの立候補が重なった際の、ボランティアさんが里親候補を精査しなくてはならない負担を解消すべく、ボランティアさんからのオファーという形式を採用しています。

テンプレートに沿って設定することができ、  
 実際の確認が必要な場合は、写真添付の欄を加えた  
 チェックリストを作成することもできます。



入力例  
 画像添付枠を  
 加えた場合



## ⑧チェックリストを作る

ボランティア側が設定、里親に送付し、  
 猫の状況に応じて、適切な対応  
 ができているかを  
 確認することができます。

## ⑨リストをチェックする

ボランティアから、  
 譲渡予定の子に沿った必要事項の  
 チェックリストが送られてきます。  
 リストを元に準備を行い、チェック、  
 項目に応じて写真等を添付します。

## ⑩最終確認を行い、譲渡へ

ボランティアはリストのチェックを  
 終えたマッチングしたペアを確認  
 でき、譲渡の許可をして、完了します。

### Point

里親になることが初めてでも、  
 チェックリストを通じ、  
 ボランティアの確認の元、譲渡を受ける  
 ことができ、里親へのなりやすさを  
 アプローチしました。



## アプリに相談を始める

普段と様子の違う猫

- 1
- ・耳がカットされていない成猫
  - ・子猫
  - ・弱っている/怪我をしている猫 等

発見した際の対応を相談できます。

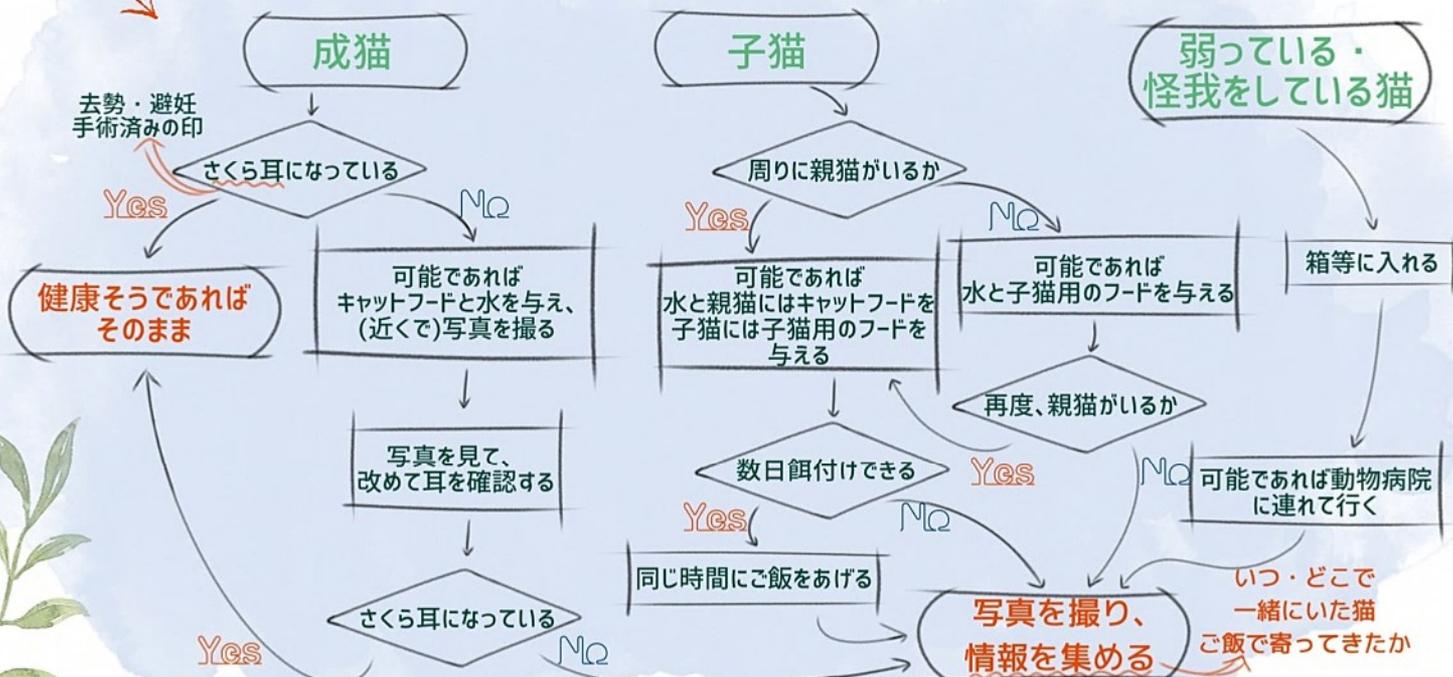
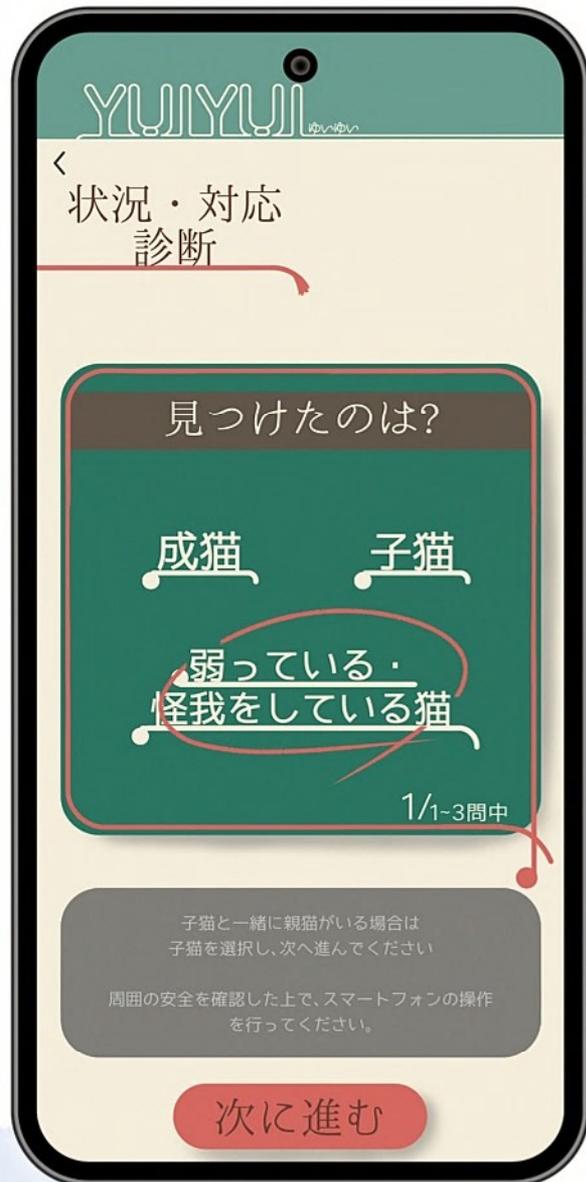


## 診断をする

2 フローチャート形式の診断を通じて、対応について知ることができます。

制作したフローチャート

結果に応じて、経過観察や報告をするなど判断材料になります。





## アプリの流れ～報告・相談編～

3

### 保護の方針を決める

ここでは、発見をした人自身が保護又は一時保護ができるか保護活動の方針を定めます。

#### Point

発見者自身がアプリを元にできる範囲で自発的な保護活動を促すことで、互いに負担の少ない保護を円滑にできるよう設計しました。



4

### 報告をする

写真や情報を入力、ボランティア側に各方針に振り分けて報告ができます。

報告は、主に発見した場所を元にその地域の範囲で、発信をすることができます。



5

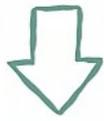
### 報告を受ける

方針別で報告の確認や保護を請け負うことができます。

発信された報告は「オファー」「トライ」に分類され確認ができます。

The screenshot shows the 'YUIYUI' app interface for reporting. At the top, it says 'YUIYUI ゆいゆい' and '＜対応の報告＞'. There are two main columns. The left column has a '写真を添付' (Attach Photo) button with a '+' sign and a note: '写真の注意点 状態(頭数、怪我、耳の状態)がわかりやすいもの全体がカメラいっぱいになるように'. The right column has '発見した頭数' (Number of cats discovered) with dropdowns for '親猫' (1匹) and '子猫' (1匹), and a '詳細' (Details) button. Below this is the '発見日時' (Discovery Date and Time) section with a date picker set to '2025年1月1日' and time fields. The '発見場所' (Discovery Location) section includes dropdowns for '都道府県' (Prefecture) and '市区町村' (City/Town/Village), and a '番地' (Address) field. There are also '詳細' (Details) buttons for location and '情報メモ' (Information Memo) field. At the bottom, there is a red '報告する' (Report) button.





## メッセージで調整を行う

6

発見者自身が保護をする際の助言や、保護を引き継ぐ際の詳細なすり合わせが行えます。



## チェックリストで管理

7

チェックリストの作成、チェックを通じて保護を管理します。

報告の管理を通じて、確実な保護が行えます。

p8  
参照

### Point

ボランティアさんのキャパシティが担保された上で管理が成り立つシステムのため、“個々で”「報告」「メッセージ」受け入れの有無が設定できることを想定しています。

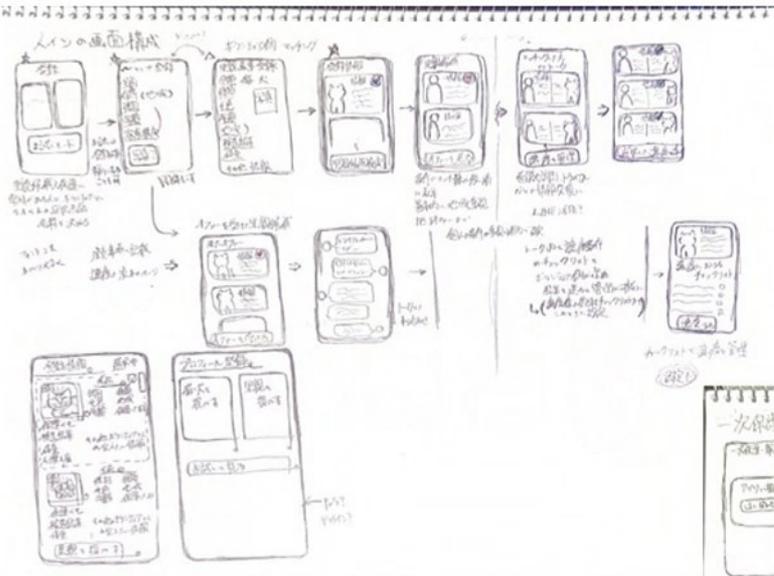


チェックを終え、許可を得ることで…

**報告・相談編 終**



## ここまでのシステムのスケッチ

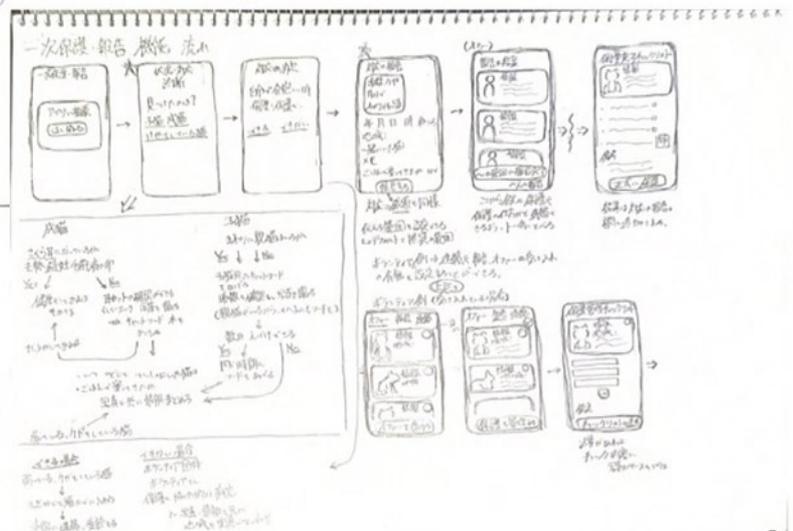


マッチング機能は構想していた流れをビジュアル化することで、流れを整え制作することができました。

(マッチング機能のスケッチ)

フローチャートについては、親猫と子猫を保護した際に知り合ったボランティアさんに相談をしながら考案をしました。

(報告・相談機能のスケッチ)



# ホーム画面とデザインについて

## 豆知識

知識不足へアプローチするために、キャラクターによる保護のひとこと豆知識をしてもらっています。

## 写真投稿

アプリを通じて保護できた猫の写真投稿で、アプリを知ったばかりの人に信頼してもらうための機能です。



## お知らせ

情報伝達が必要となる保護活動のため最初に目につくように上部のお知らせの配置装飾を施しました。

## モノマッチング

有志で行われる保護活動を支えられるようマッチング機能を応用し、不要になったモノを交換し合える機能です。

色は猫の世界を覗くとよく目にする緑を基調とし、全体的に淡いものを採用。

アプリのモチーフとなる組紐のデザインや組紐を組む際に必要なコマの装飾を随所に散りばめました。

また、アプリの機能を示すアイコンは、わかりやすいかつ、レトロなモチーフにすることで親しみやすさを意識しました。

# キャラクターについて

猫と人をつなぐ存在

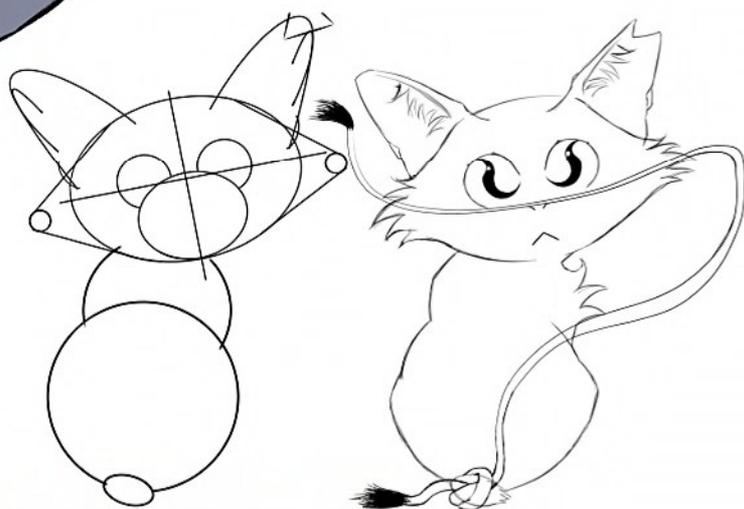
**ゆかり**

性別不詳な不思議な猫  
猫と人間どちらとも  
話することができる  
元保護猫。



猫も人も惹きつける  
ビー玉のような目を  
持っている

モチーフの組紐を  
尻尾に結んでおり、  
感情表現を司る尻尾を  
長くしている。



## 工夫したこと

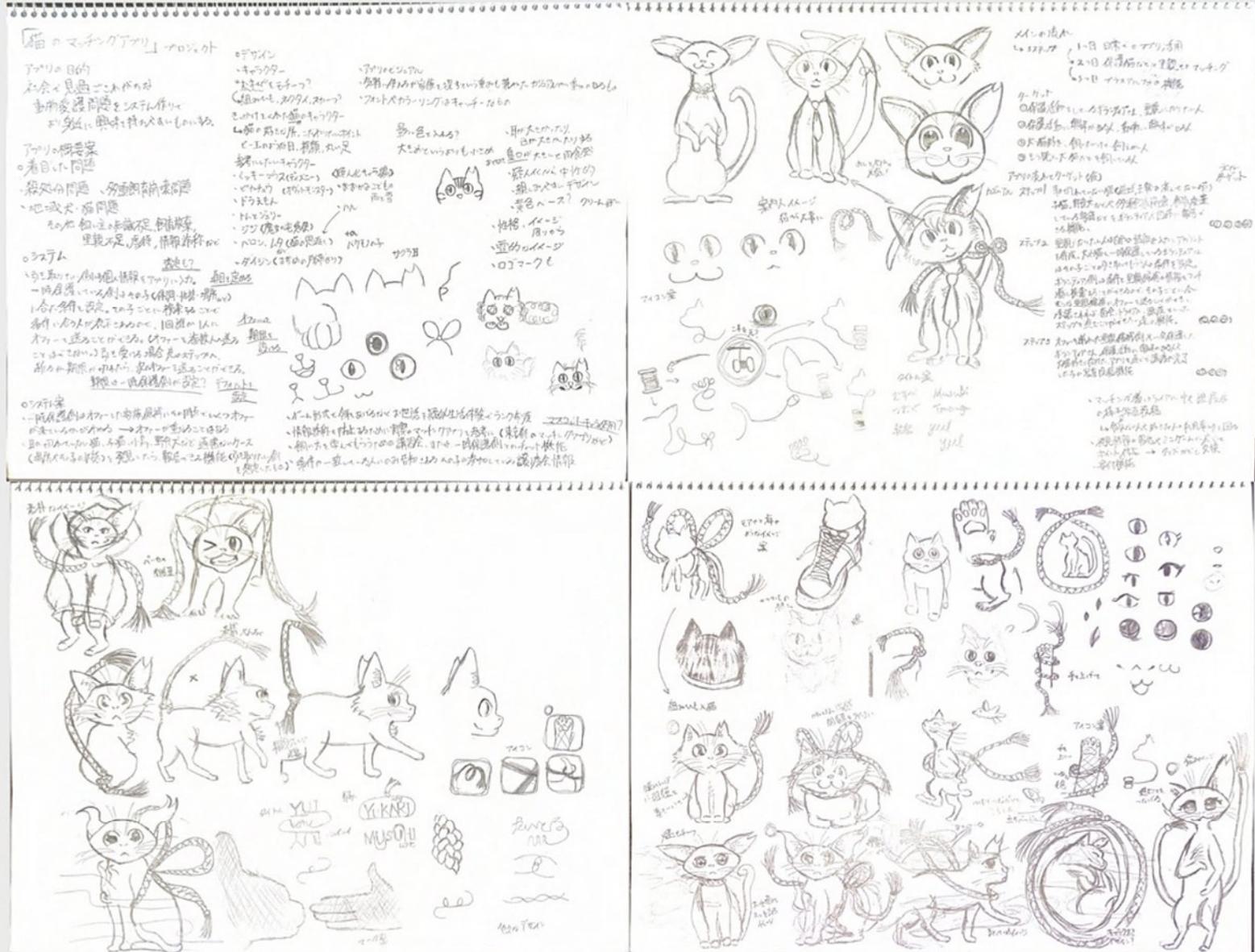
幅広く親しまれるよう、スケッチの段階で周りの人に  
キャラクター案から好きなものを選んでもらい、このキャラクターを採用。

モチーフは人からは美しいと思われ、猫も目を引くような、  
“ビー玉”“組紐”を選びました。

キャラクターの形を整えるためには、葛飾北斎さんの「略画早指南」を  
参考にし、塗りを水彩調にすることでビー玉のような瞳の奥深い輝きや、  
体の柔らかさを表現しました。また、組紐を丁寧に描くことで  
一目で惹きつけられるキャラクターにしました。

# ご覧いただきありがとうございました。

## エスキースや制作過程



## アプリの発展性

### ・ 面談の実施

譲渡をする上の問題の  
である情報詐称に対して、  
面談を通じた対策が  
行えると思います。

### ・ 保護犬へのアプローチ

今回は経験に沿った  
保護猫中心のアプリ制作でしたが、  
動物愛護問題の観点から、  
保護犬に沿ったシステム作りも  
このアプリのシステムを元に  
構築が可能だと考えています。

## 制作に使用したツール

イラスト・アプリ画面、アイコン、ロゴ等デザイン: ibisPaint X

企画書作成: Canva

